

来年度予算に皆さんの声を反映させる

2012年度 予算要望懇談会を開催

7月30日、日本共産党市会議員団と日本共産党西宮芦屋地区委員会との共催で、西宮市の来年度(2012年度)予算に対する予算要望懇談会を開催しました。毎年市民や市民団体の皆さんからの要望を聞いて、西宮市の次年度の予算に反映をさせるための予算要望書を市に提出(400項目以上)しています。

冒頭にまず野口幹事長から今年度予算の特徴について説明し、その後参加者から意見・要望をお聞きしました。

市営住宅の役員をされている方たちからは、市営住宅によって市の関与の仕方が違うので実態の情報提供や、住宅の共益費の徴収は市が行うべき、などの声が出されました。また、阪神甲子園駅改修にかかわる要望や地域の道路問題、学校のエアコン早期設置を、の声とともに、面積基準緩和などで保育行政の後退をさせないようになど、参加された12団体・個人の方々から多方面にわたって様々な意見や要望が出され、時間が足りないくらいでした。

懇談会には、有川清次郎日本共産党地区委員長、いそみ恵子県会議員、庄本けんじ市政対策委員長も出席しました。



意見・要望を述べる参加者



放射能汚染の牛肉流通広がる

前号のこのニュースでお知らせした放射能汚染の牛肉問題。西宮市食肉センターで解体処理された牛肉の流通は16府県からさらに増え、18府県(90市14町)に及んでいます。4月には西宮市内の業者にもこの肉が4,5キロ販売されており、すでに消費されている可能性が高くなっています。

こうした報道がなされる中で、西宮市の保健所には子どもをもつお母さんたちからたくさんの問い合わせがきています。特に給食ではそのような疑いのある肉は使わないでという声が多いそうですが、現在市の保育所や小・中学校の給食では北海道産の牛肉を使用しているそうです。今月には福島第一原発1・2号機間の建屋で過去最高の放射能レベルが観測されました。まだまだ予断が許されない中、今後も西宮市としても食の安全に万全を期す取り組みが求められています。

西宮市教育委員会は「侵略戦争美化」教科書採択せず

おおむね4年に一度行われる教科書検定とともに、各自治体の教育委員会としてどの教科書を選ぶのかの教科書採択が全国で行なわれています。

特に問題になっている「侵略戦争を美化」した自由社や育鵬社の教科書が東大阪市などで採択されています。西宮市でもどの教科書を採用するのかに注目が集まっていますが、7月20日に行われた西宮市教育委員会会議では、このたびの採択では上記2社分については採用しないということが明らかになりました。西宮市議会でもこの間歴史をゆがめる教科書を採用するように働きかける動きもあり、今後もこうした動向を警戒していく必要があります。